



令和元年度 県西地区高等学校 PTA連絡協議会評議員会

6月12日（水）

筑西市の県西生涯学習センターにおいて上記の会が開催されました。私は、県西地区校長会長なので来賓としての出席でした。全体会の中で来賓挨拶をさせていただきました。以下要旨を掲載します。

今年度、県西地区県立学校長会の会長を務めさせていただいております下妻一高の細野と申します。本日は、県西地区高等学校PTA連絡協議会評議員会の開催、おめでとうございます。皆様方には県西地区のみならず、高校生の健全育成のためにご尽力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

特に保護者の皆様には、日頃より、各学校の教育活動に対して、ご理解とご支援をいただいております。学校の教育活動は、保護者の皆様の信頼と協力がなければ成り立ちません。引き続き学校側と保護者が良好な信頼関係を保てるよう、お願い申し上げます。

5月28日に川崎市で起きました傷害事件の犠牲者の皆様には心からお見舞いの意を表したいと思えます。池田小学校の事件が起きたときにも、二度と繰り返されてはならないと誰もが誓ったはずなのに、やりきれない思いです。子ども達が安心して学べる環境作りについて改めて検証しなければならないと強く感じました。私も職員朝会で、不審者用の刺叉の場所を全職員で確認するところから危機意識を喚起したところです。

また生徒達に対しては、文化祭の開会式において、全員で黙祷をしたあと、自分自身を大切にすること、全ての人に対して敬う気持ち（リスペクトする意識、）を訴えました。自分を大切にすることと自分以外の人を大切にすることは矛盾しないと訴えました。

現在、教育環境はかつてない速さで変化しています。5月17日に政府の教育再生実行会議が第11次提言をまとめ、安倍首相に提出しました。高校生の7割が在籍する普通科改革などを提言しています。この中で、画一的な学びを転換し、各学校で特色を出すよう求めています。茨城県では、これに先駆ける形で既に学校改革プランが発表され、我々高校側にも変革を求めています。最も大きな反響を呼んでいるのが公立高校「中高一貫教育」ではないでしょうか。それ以外の高校にも、今後独自色を出すように求めています。学校としては、保護者や地域のニーズを取り入れながら、学校毎の特色を出さなければなりません。大変な時代がやってきました。

学校現場においては、教師と生徒と保護者が、対立の構図ではなく、信頼関係を築き、同じ目的を持って、共に歩いていくことが理想ではないかと考えます。今後とも一層の連携ができますことを祈念して挨拶とさせていただきます。